



有
 米
 之
 花
 盛
 櫻
 弥
 生
 花
 左
 可
 里

有
 米
 之
 花
 盛
 櫻
 弥
 生
 花
 左
 可
 里

有
 米
 之
 花
 盛
 櫻
 弥
 生
 花
 左
 可
 里

春

糖

四谷をむす糖

立春

日光及中とく川

おち目目 大歩 ぶるともひ

梨おむ ちのむむむ村

よみき 小所を居ちし

様

尾久 ちのち ちのち

秋

秋がやむむむむむむむむ

七の月におもむむむむ

菊 ちのちのちのちのち

お ちのちのちのちのち

美 ちのちのちのちのち

海 ちのちのちのちのち

夏

藤

ちのちのちのちのち

ちのちのちのちのち

ちのちのちのちのち

お ちのちのちのちのち

ちのちのちのちのち

葛 ちのちのちのちのち

冬

寒 ちのちのちのちのち

お ちのちのちのちのち

寒 ちのちのちのちのち

山 ちのちのちのちのち

ちのちのちのちのち



「お正月
の
お
初
詣
」



「お正月の
お初詣
」

「お正月
の
お
初
詣
」



「お正月
の
お
初
詣
」

元日

お初詣

「あまのこころ」

「あまのこころ」

「あまのこころ」

「あまのこころ」

「あまのこころ」

「あまのこころ」

十日

「あまのこころ」

「あまのこころ」

天上

廿二日

酒二小

十日

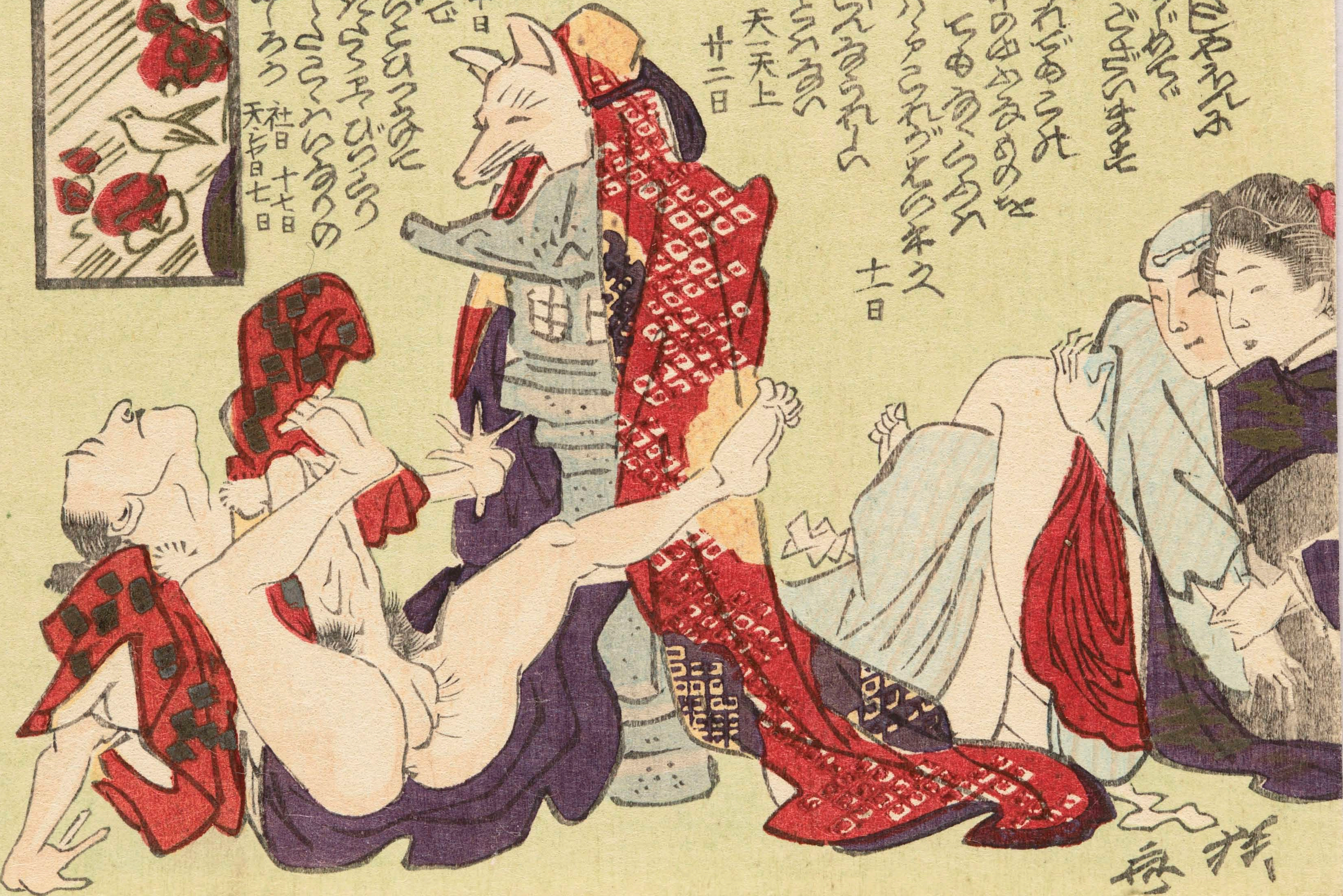
「あまのこころ」

「あまのこころ」

「あまのこころ」

「あまのこころ」

社日 十七日
天日 七日



狐



二天
遠し

秋
秋

アイタタタ

ど土用

長三郎

十日金丸

八時二分

廿四日
おろくまのいね

ウツク

号モウ

庚申

ウネホ

の表

号ゆ

コ

廿九日

アイタ





Handwritten Japanese text in the upper left quadrant, including characters like 三三 and 四四.

Handwritten Japanese characters on the left side of the illustration.

Handwritten Japanese text on the right side of the illustration.





あつちん
五大られね

アササギ

あつちん十日

あつちん十日
あつちん十日

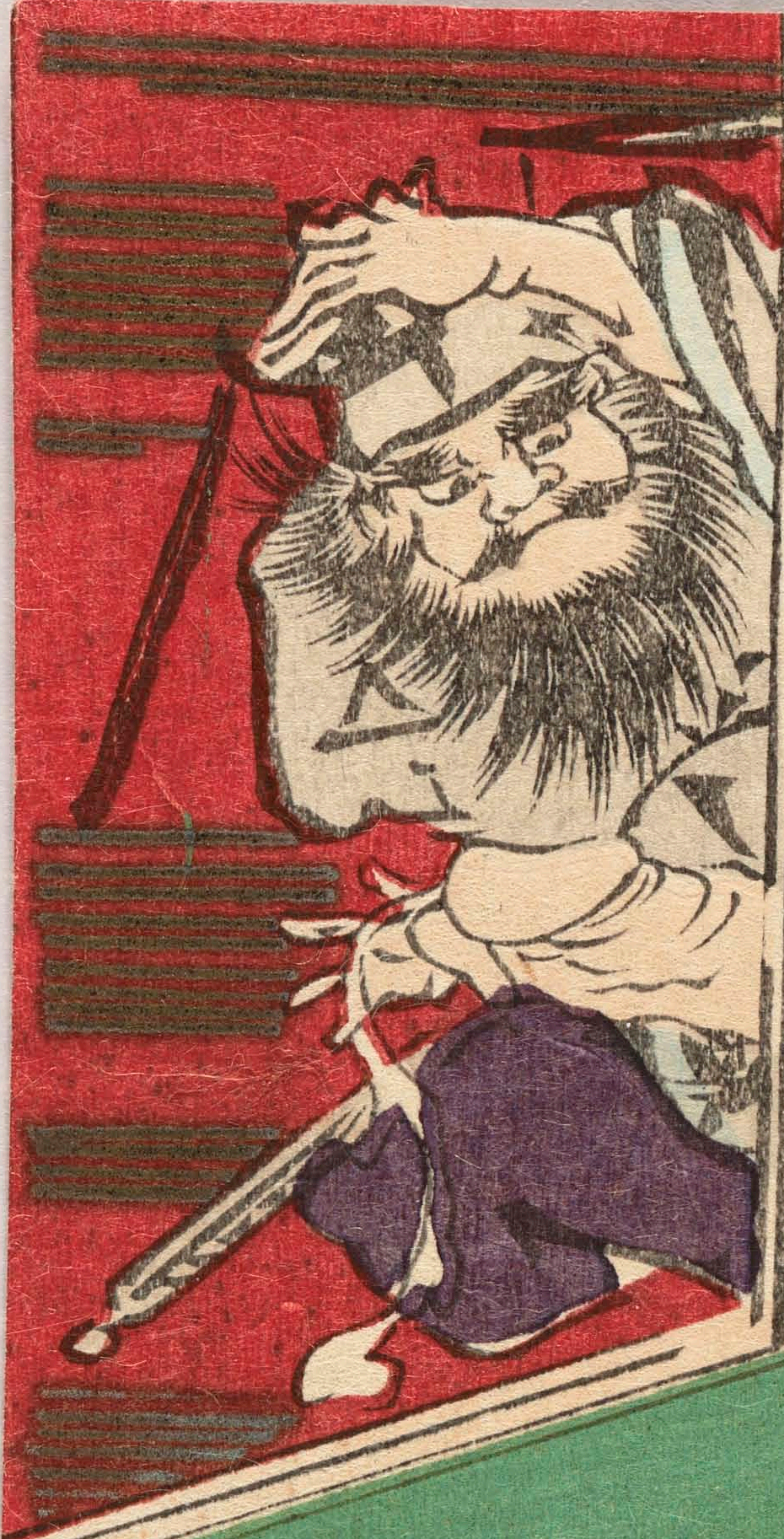
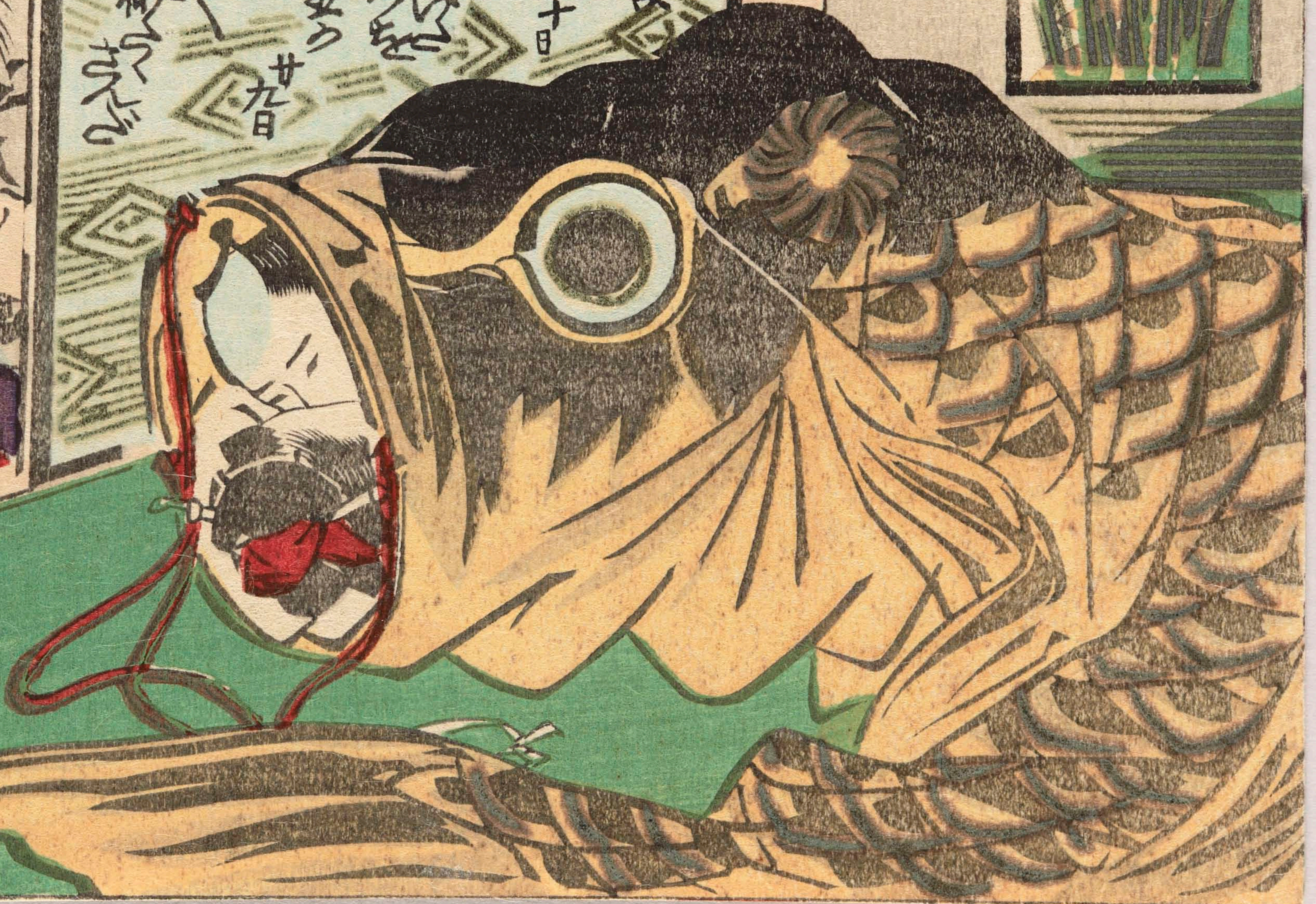
あつちん十日

あつちん十日



三日
入梅
あつちん

廿九日



あつちん



天二反

天二反

天二反

九分

十六日朝四時

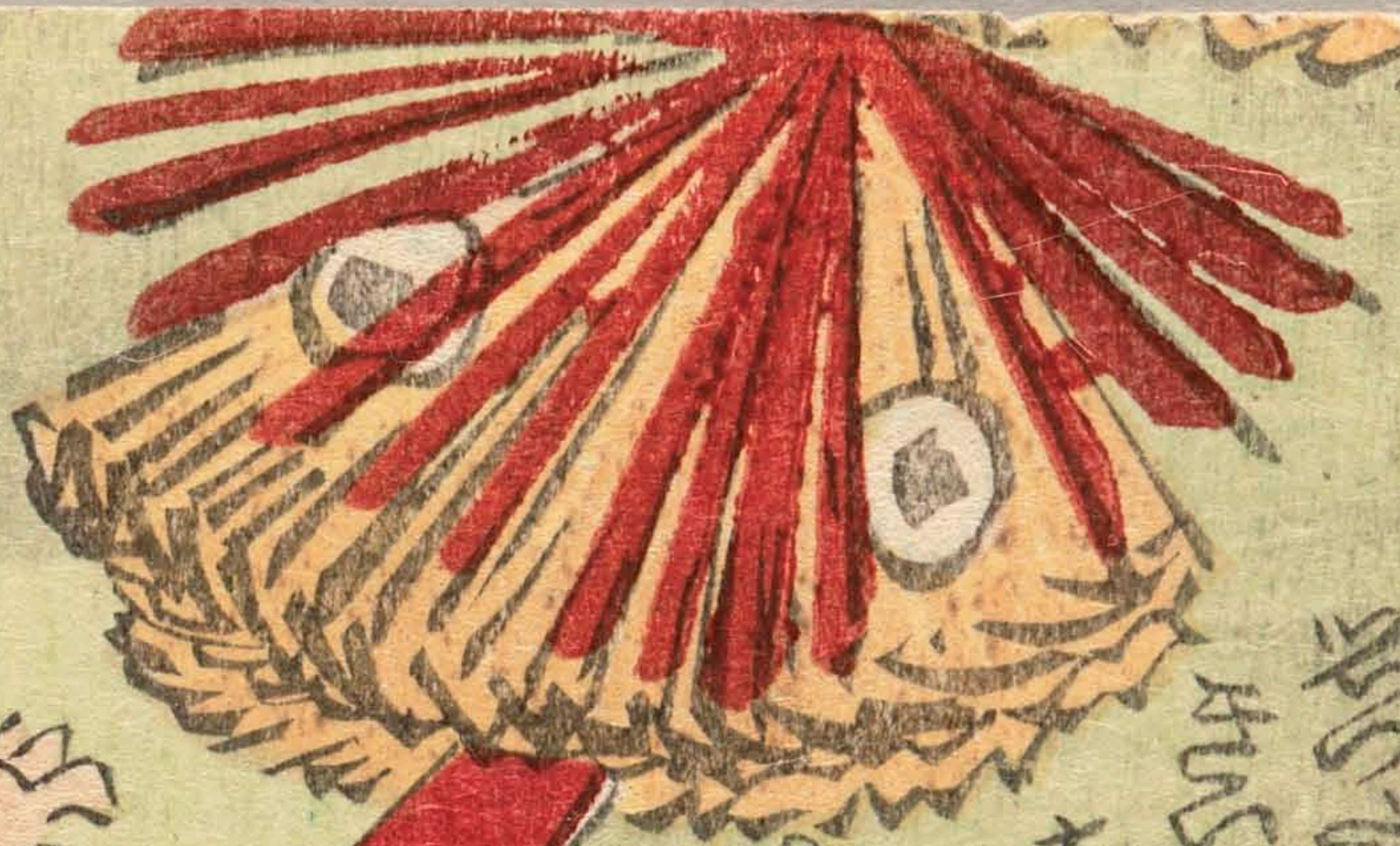
天二反

天二反

天二反

天二反

天二反



天二反

天二反

天二反

天二反

天二反



セウの大で
うまき
の

物新



アサギ
あまの
#

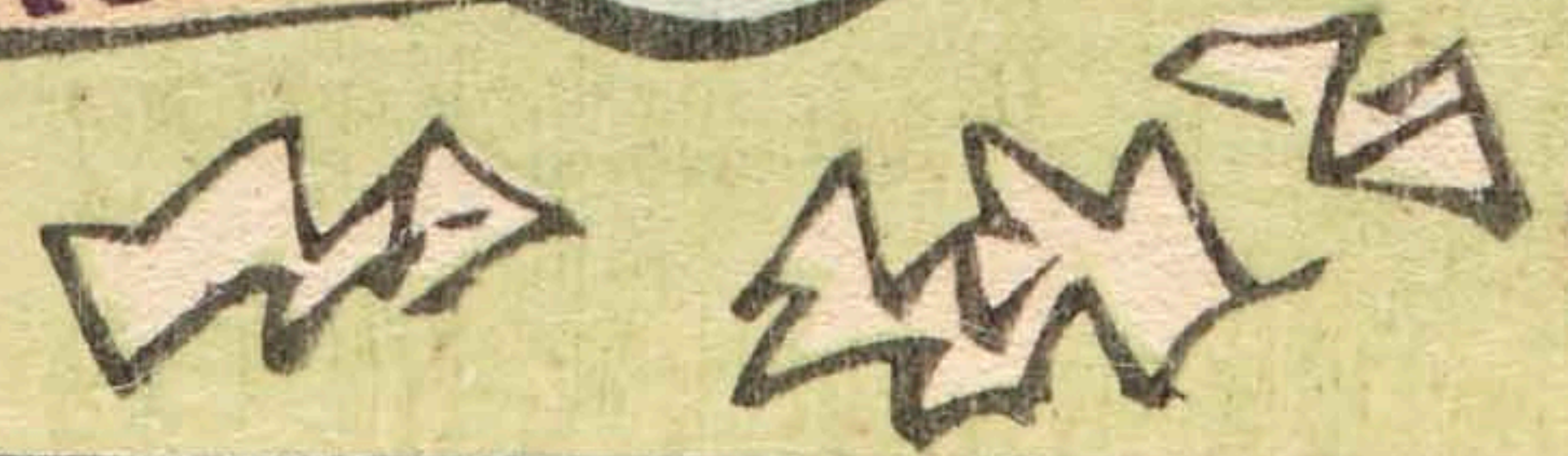
いれ
ニ
の

二百十日
三十日

東ま

の
の
想

廿五日
い
廿六日



「あつたあつた
八丈あつたあつた」

「あつたあつた
あつたあつた」

あつたあつた
あつたあつた

あつたあつたあつた

廿五日

あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた



あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた

廿二日

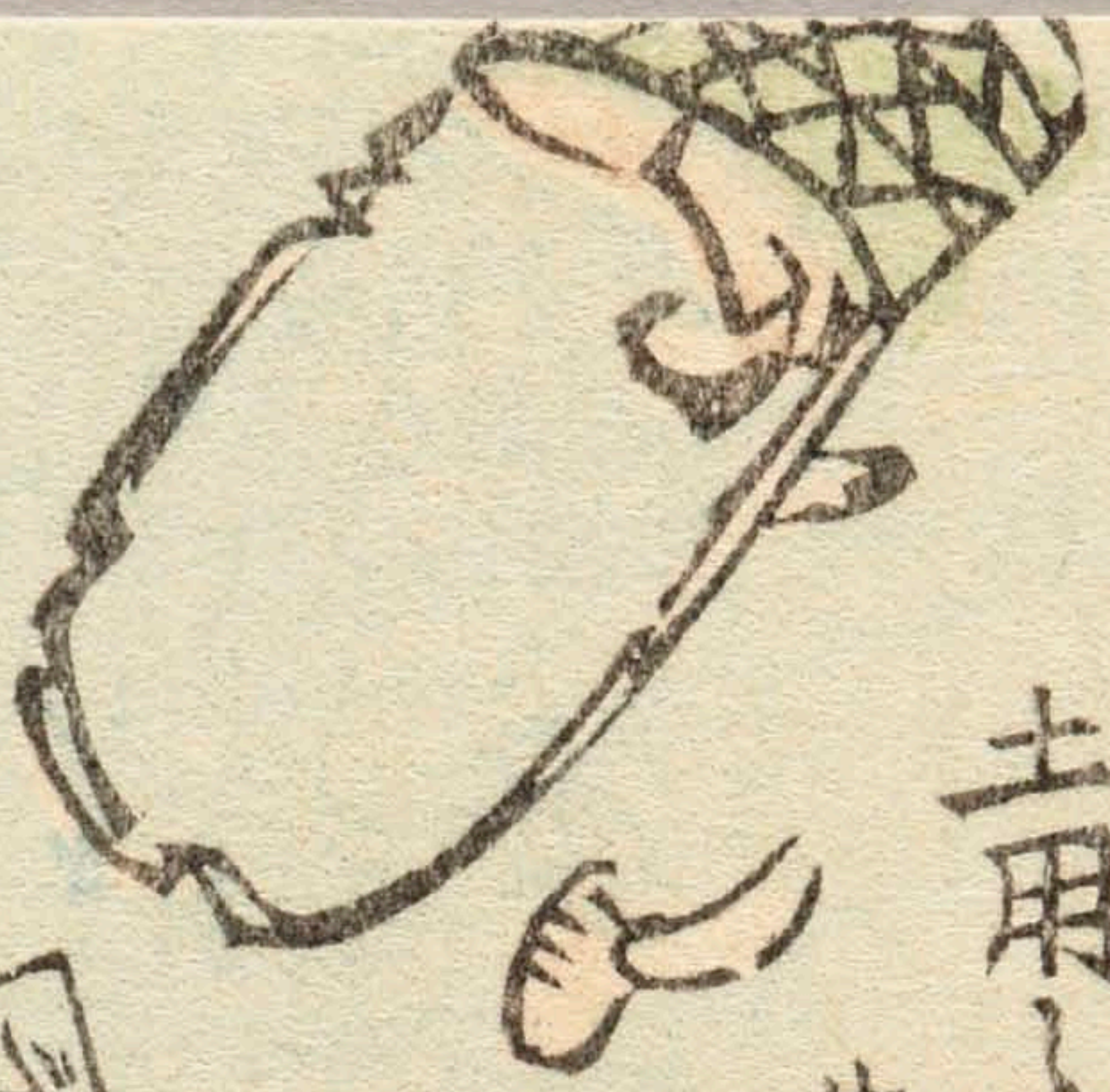
あつたあつた



「FUSMA」

土用一多

女日
ハミ



「自由」

SHOJUPOTOM

「二人の板」

「ASA」

廿六日

「七」
女
十四日



「九大」

「あまのり」

「天」

「あま」

「あま」

十日

松花

あつち

いま

あつち

あつち

あつち

あつち



あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち



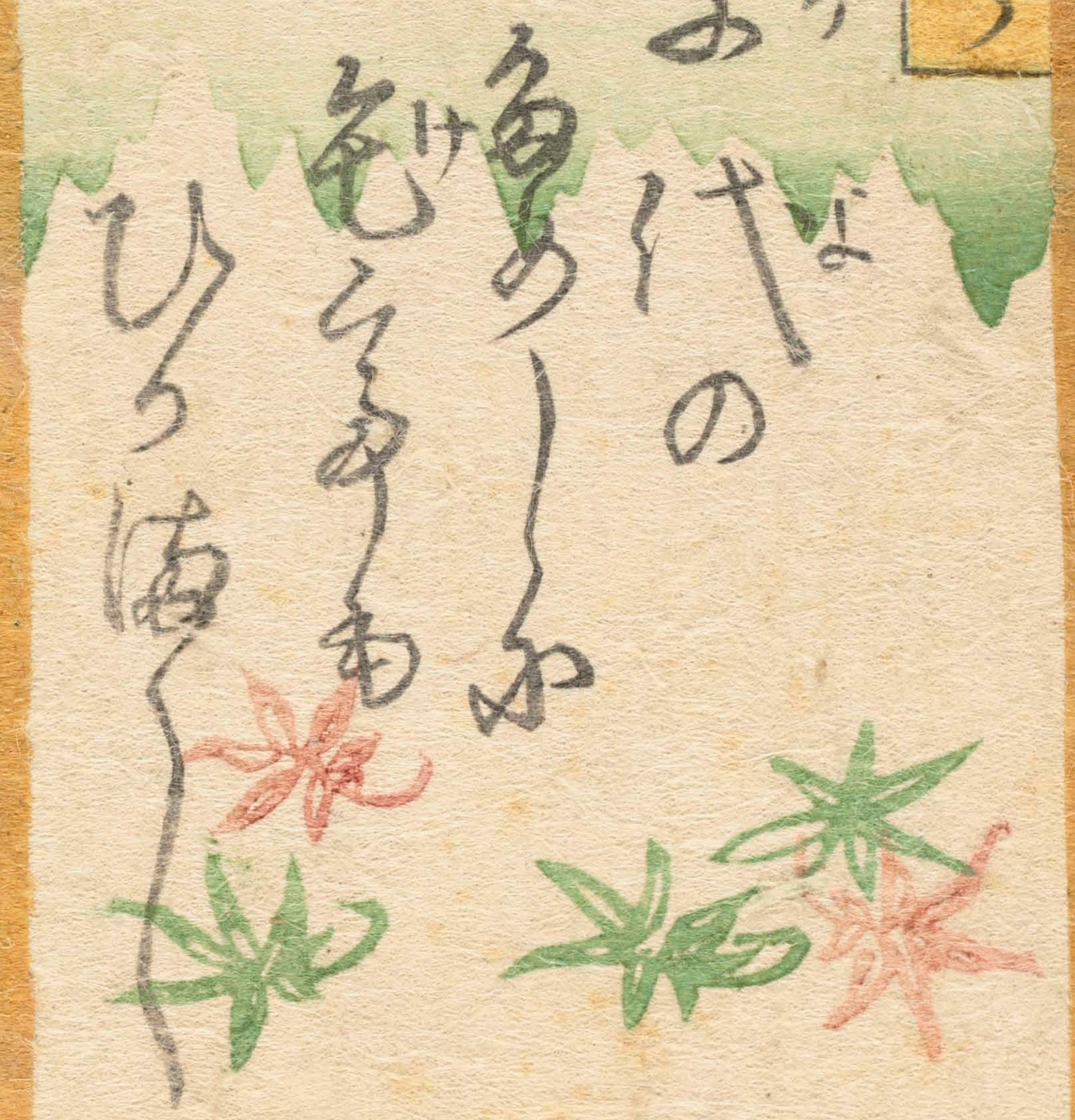
忠考

子^ちの^は

魚^いの^しお

色^けしらぬ^あ

ひら^なぬ



おの^のこ^のこ^の

お^のこ^の

お^のこ^の

お^のこ^の

お^のこ^の

お^のこ^の



夜来光

花

我

雲

の

の



三

抱

手

君





是則

かゝる可也

かゝる可也

かゝる可也

ち



かゝる可也

坂と気

妙

みに

雲

元の

かゝる可也

名

かゝる可也

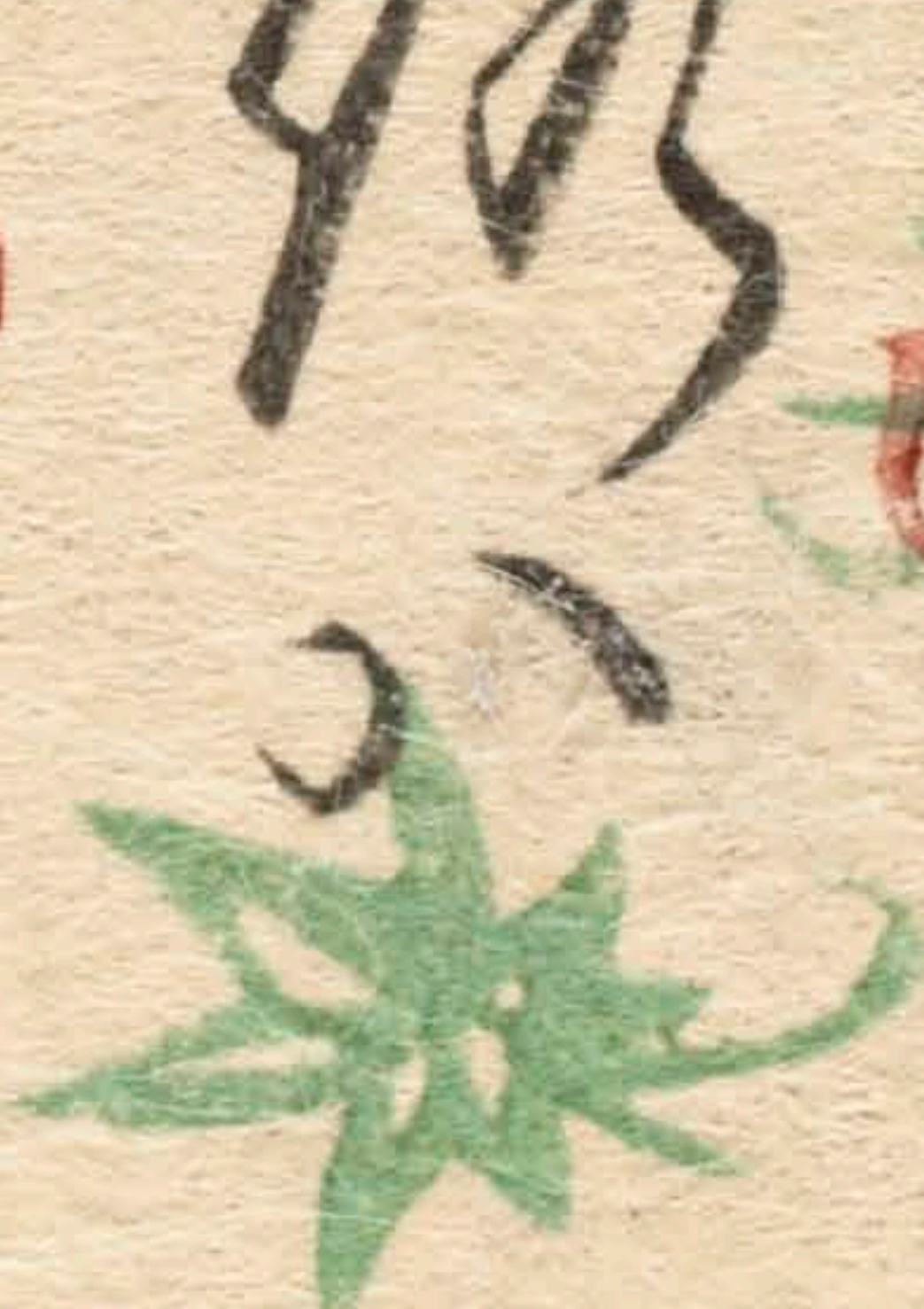
かゝる可也

業平

まよひのうた

せうげ

か
し



まよひのうた

業平

世の中み

抱く

まよひ

の

まよひ

まよひ

純愛の

純愛の

純愛の

純愛の

純愛の

純愛の

純愛の



猿丸

あ
ら
ら

秋

遠

あ
ら
ら

あ
ら
ら



猿丸
変

あ
ら
ら

あ
ら
ら

あ
ら
ら

あ
ら
ら



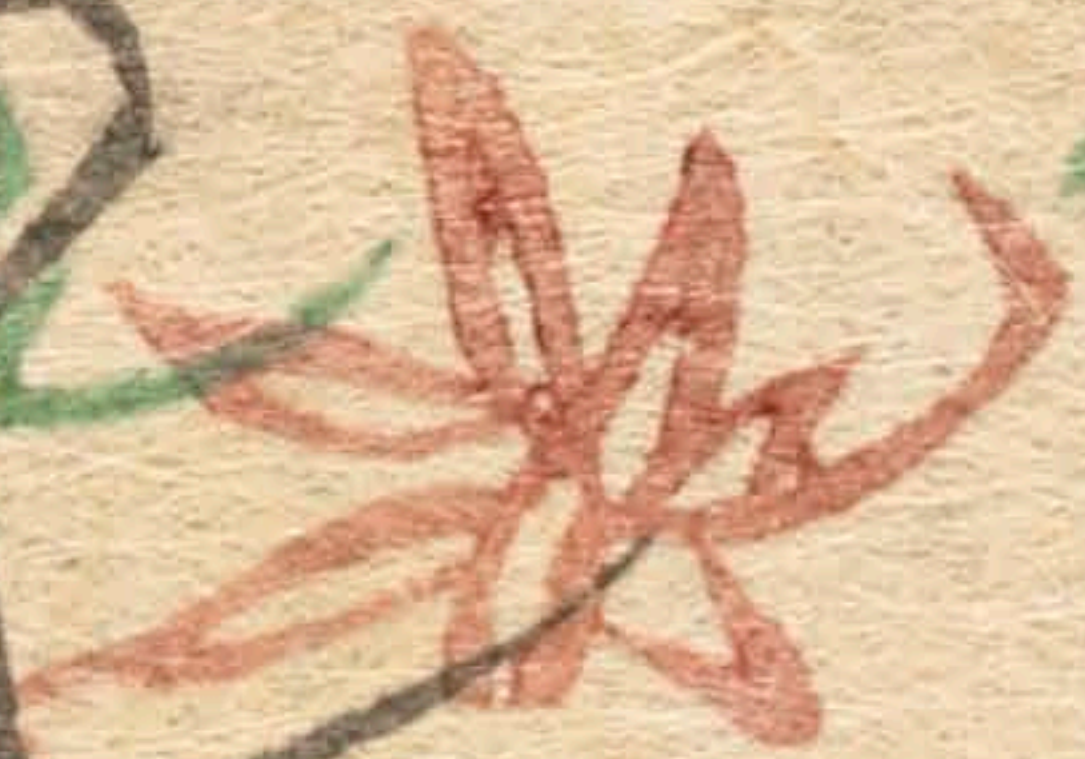
忠見

たすまの

ら

痛の勢

角



忠見

忠見

忠見

忠見

忠見

忠見

忠見

忠見

忠見

五ノ巻

546

有
此
以
此

石
可
南



源
心
源
心
源
心
源
心
源
心



仲文

あつち
あつち
あつち

あつち

あつち

あつち



あつち
あつち
あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

友剽

友^{とも}

盗^{ぬす}め^ぬる^も
ひ^ひま^まり^り
ち^ちあ^あら^らぬ^ぬ



きのよも
純友剽

のら^{のら}た^たれ^れば

ま^まの^の

か^から^らぬ^ぬ

か^かさ^さら^らぬ^ぬ



浮世

たろ

あぢ

あぢ

味

と

あぢ

あぢ



浮世

の

山

ら

ま

あ

ま

で



忠臣

人

忠臣

浦八子

浦八子



朝忠
あま
の
抱
か
ま
ま



え浦

まのり

あはれ

う

あはれ



まのりのあはれ
清原元浦
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ



通照

己
家
く
あ
あ
あ

か
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ



あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ





新久

つげ

君が

子

法

遠



余法新基

子

妻

志

女
 参
 の
 素
 の
 風
 姿
 姿
 姿



秋
 夜

秋
 夜
 の
 風
 姿



清政

あまの

あまの

あまの

あまの



あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの



友道

あゝ
あゝ

わん
わん

か
あ
の
ま
の
あ

あ
あ



秀人

いま
たを

今
なごめ

秀人の

ちぢぢ
も

えぬ

へし



毒人

あ

さし

し

多の孫

水

あ



山切
毒人
我ら
此
毒
女房
あ





やう措

おのろ

女か

なご

おのろ



女か
矢加措

のろ

おのろ

あま

おのろ

あま

あま

あま



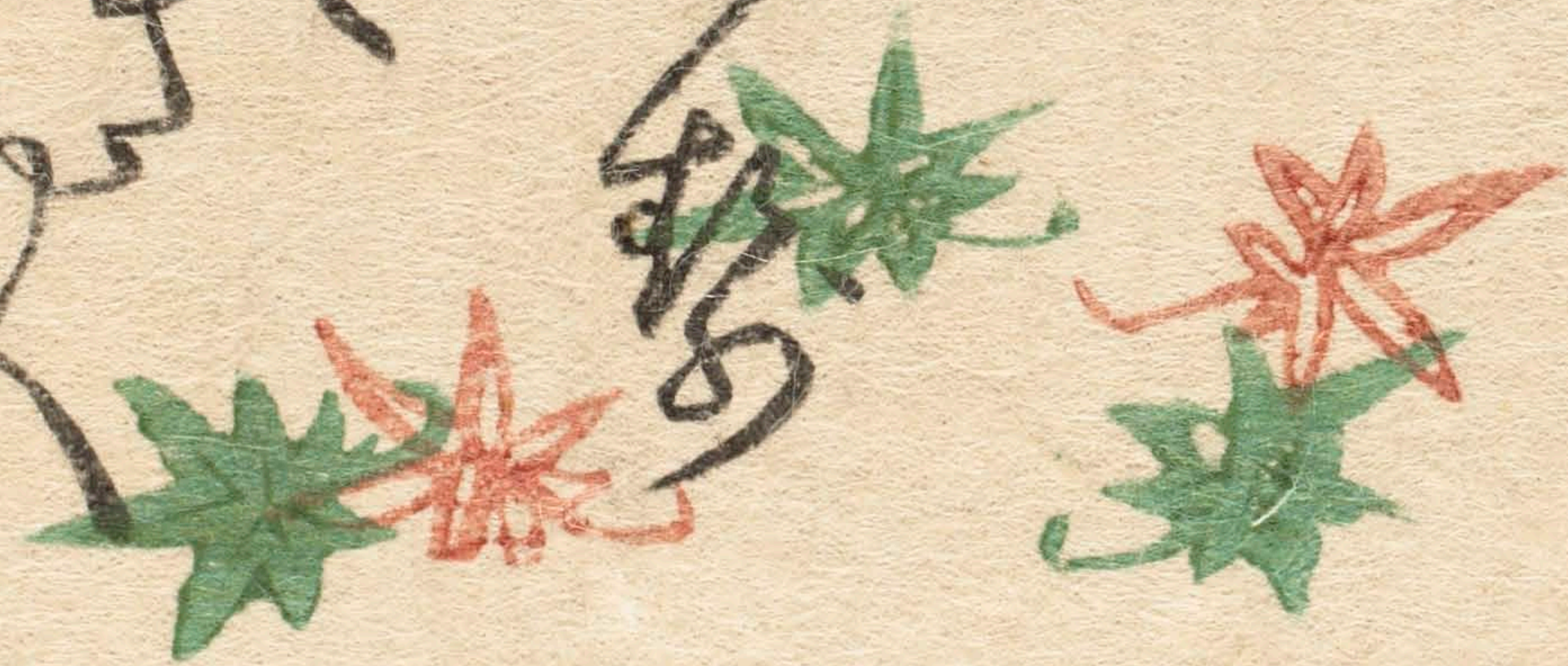
三巻目

むすの

まの

名に
りま

ま



扇面



御末廣外
好壺
御末廣外
御末廣外



御扇面



御末廣
御扇面
御主人
御主人



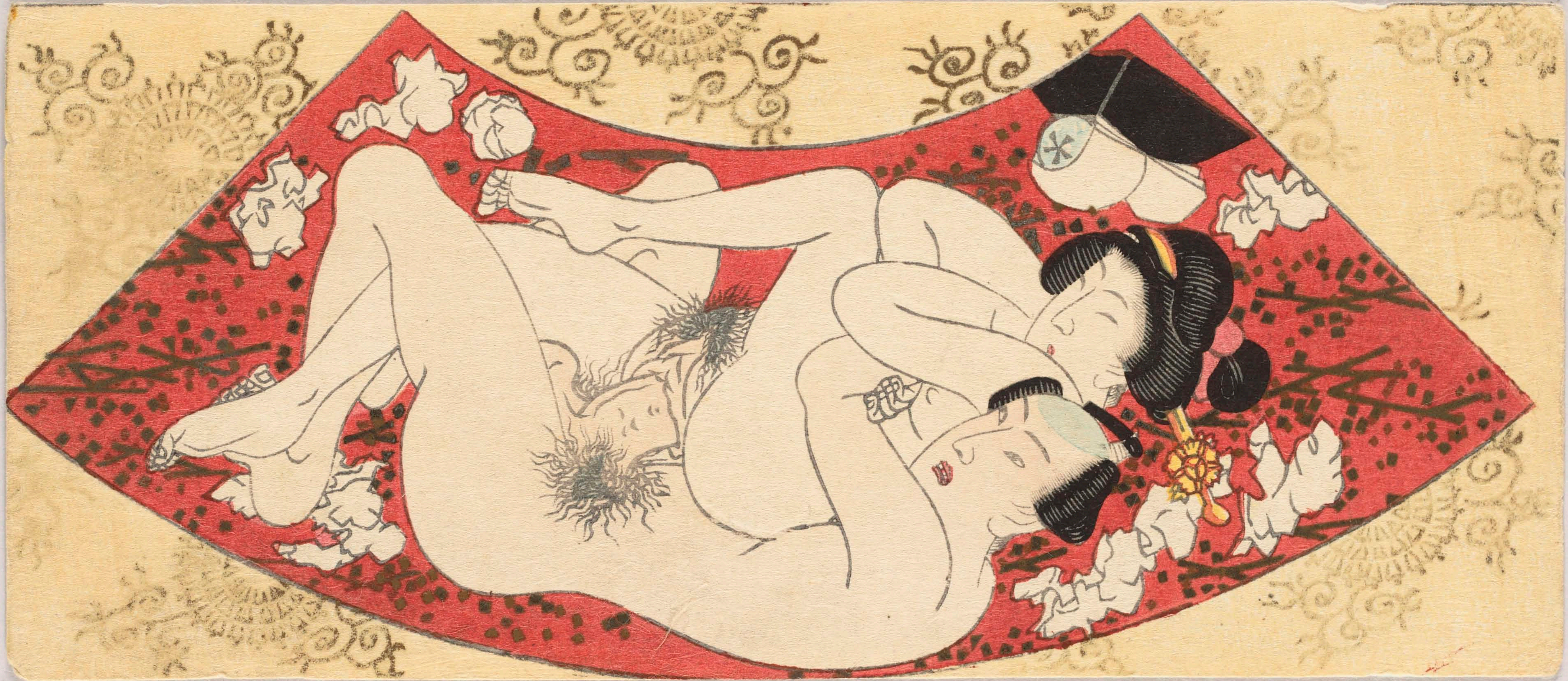
















掃之助

鴻基三



婦三良

大川

三良



新之助

深井、不二



婦之身良

出茶水糸二

東
八
景
艶
色





友必初雨

豊多之東八白景

国
たかひの
の
たかひの
たかひの

初雨の
あまの
あまの
あまの
あまの

艶色東八景

隅田川暮雲

隅田川暮雲
艶色東八景
歌川国芳

歌川国芳
艶色東八景
隅田川暮雲





艶色本八景

愛宕夕照

さるる
おまへ
さるる

おまへ
さるる
さるる

おまへ
さるる
さるる
さるる

艶色東八景

涼川晴嵐



Shimada

大友松の園

いんぎん